

一般会計予算決算常任委員会事業評価表(令和3年度)

評価分科会	総務文教分科会
-------	---------

対象事業	No.	事務事業名
	1	山陽消防署埴生出張所整備事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持		○		
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

<p>今後の方向性の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き地域に必要な防災拠点の整備を進めていただきたい。</li> <li>・土地造成の設計に基づき、建設予定地の地盤や断層など地質調査の重要性</li> <li>・継続した積み立てによる安定財源の確保</li> <li>・埴生地区の防災拠点として、無事故で盤石の体制で整備事業を進めていただきたい。</li> <li>・手狭で古い建物で、防災施設に適していないと思う。埴生地域のために設計できている。</li> <li>・市全体の消防力の充実強化を図るための手段として、埴生地区の防災施設の整備が望まれ計画どおりの事業執行に取り組むこと。</li> <li>・近年、全国で大規模災害が多発している。このような災害から市民の生命、財産を守るためにも署員の増員や埴生出張所の機能向上が重要になってくると考える。</li> </ul>
<p>その他特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き近隣住民との調和を図りながら進めていただきたい。</li> <li>・建替え地域の方々の理解、説明をしっかりと図っていく。</li> <li>・埴生出張所での訓練や地域の防災訓練、山陽地区の消防団訓練などに埴生小学校跡地を活用することを所望する。</li> </ul>

対象事業	No.	事務事業名
	2	移住定住プロモーション事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

<p>今後の方向性の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開設したポータルサイトの活用を広げる必要がある。</li> <li>・関係部署との連携を促進させ、移住者のニーズの調査、ターゲットに合わせた効果的なPR戦略</li> <li>・新しい生活様式としてテレワークへの取組</li> <li>・空き家(動画など)や求人に関する情報</li> <li>・移住定住情報ポータルサイトの充実を今以上に進めていく必要がある。</li> <li>・この度の事業は中身が多過ぎるのか、目玉がない。</li> <li>・本市への移住検討者等に対しポータルサイト新設やリーフレット作成を行い、この事業を推進する。さらにスマイルシティライフ体験事業においては、これを活用することにより利用者増加を図り移住につなげていくこととされている。成果に期待する。</li> <li>・本市への移住定住を促進するための施策は重要である。人口減少率を可能な限り低く保つためには、若者、特に子育て世代への情報発信ツールを拡充する必要がある。</li> </ul> <p>その他特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイトのデータ解析やニーズに合った内容の更新をスピード感をもって進めていただきたい。移住までつなげる実数目標を掲げ、危機感をもってさらに取り組みを強化する必要があると考える。</li> <li>・若者だけでなく、リタイヤされた退職者の方々へのアピールも取組も必要と思われる。</li> <li>・形式的でなく人それぞれの特性を重視し、親切、丁寧な取組が必要と思われる。</li> </ul>
--

対象事業	No.	事務事業名
	3	きらら交流館再整備検討事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

<p>今後の方向性の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場のポテンシャルを最大限に活かし、交流人口の増加を図りたい。</li> <li>・体験活動拠点の1つとして、にぎわい作りの機能に期待</li> <li>・万全の体制での指定管理者の選定をお願いしたい。</li> <li>・研修を伴わない宿泊可で、現在のニーズに合った新しいコンセプトの下、見直しをするとあるが、地域にホテルがないので、ただのホテルにならないように。</li> <li>・計画スケジュールに沿った事業の取組を前提とし、施設利用等の取扱いは利用者の立場に立った上で効果、効率的な取組を求む。適切な対応に期待する。</li> <li>・きらら交流館周辺が様々な面で改善されても継続的に交流人口が増加するかは大きな疑問を持つ。また、仮に交流人口が増加しても、その後の展開が何に結びついていくか、よく分からない。</li> </ul> <p>その他特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年リニューアルオープンまで3年以上の空白があります。地域の活性化を進めていただきたい。</li> <li>・令和5年2月からの2年間は人が来なくなるが、その対策は？</li> <li>・コスト投入の方向性については計画予算をシーリングを重視した対応が望ましい手法とする。</li> <li>・指定管理者制度の抜本的な見直しを所望する。</li> </ul>
--

対象事業	No.	事務事業名
	4	デジタル化推進事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・全庁的に取り組みあらゆる効果を見出していきたい
- ・AI分野の強化に期待
- ・可能であれば、時間外残業の削減に向けた取組
- ・デジタル推進室の強化を図っていただきたい。
- ・市民にデジタル化が浸透している。
- ・協創によるデジタル技術を活用した市民のQOL(生活の質)向上を実施できる地域課題の解決のデジタル技術活用による効率的な行政サービスの推進、誰一人として取り残されることなく、情報格差のない地域社会の実現に期待する。

その他特記事項

- ・高齢者を対象としたデジタルデバインド対策は有効であり継続を希望する。

対象事業	No.	事務事業名
	5	防災気象情報システム導入事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

<p>今後の方向性の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システムを有効に活用されたい。</li> <li>・今後の大雨による被害状況を踏まえ見直しを推進、必要に応じては監視カメラの増設の検討</li> <li>・ハザードマップ情報のリンク</li> <li>・防災気象情報システム導入に伴い、県、また上流側の市との連携を図っていく必要がある。</li> <li>・防災のため、河川カメラや雨量計の維持管理をしっかりとやっていく。</li> <li>・防災行政を推進していく上で大変友好的なシステムであるが、システムを有効に活用していくためには河川カメラ、雨量計等の備品について維持管理を行っていく必要がある。</li> <li>・土砂災害警戒地区の詳細な情報発信と土砂災害を把握できる地区を広げていくべきだと考える。</li> </ul>
<p>その他特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他市との情報共有について、ハード面に問題はないか。</li> <li>・監視カメラに雨水が付着して見えないときがあるので改善することと監視カメラや水位計を山間部の河川上流部分にも設置することを所望する。</li> </ul>

対象事業	No.	事務事業名
	6	期日前投票所増設事業(赤崎公民館)

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

<p>今後の方向性の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き増設した事の周知が必要。投票率のアップにつなげたい。</li> <li>・期日前投票所の新設に加え(大学など)、投票期間については今後の調査事項</li> <li>・投票率のアップには共通投票所の導入の検討</li> <li>・投票率の低下に伴う問題があり、期日前投票所の増設をお願いしたい。</li> <li>・新型コロナウイルス感染の観点からも赤崎公民館の設置は必要。</li> <li>・市全体の投票率が減少傾向にあることから期日前投票の活用を周知し投票率の向上を図る。</li> <li>・選挙人の利便性向上や期日前投票者が増えることは良いことだが、このことと投票率アップをリンクさせる施策に注力していくべきだと考える。</li> </ul> <p>その他特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者を対象として山口東京理科大学での投票所の開設を希望する。</li> <li>・交流センターや大型ショッピングセンターに投票所を設けることも良いと思うが、移動式投票所(大型バスなど)の活用を検討することを所望する。</li> </ul>
---

対象事業	No.	事務事業名
	7	山陽小野田市立山口東京理科大学授業料等減免補助事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・公立大学法人としっかりと情報共有をされたい
- ・授業料・入学金の免除・減額について現状維持
- ・平等に受けられるようにしっかりと審査する。
- ・公立大学法人と定期的な情報交換を行い、減免状況の把握につとめること。

その他特記事項

対象事業	No.	事務事業名
	8	山陽小野田市立山口東京理科大学運営費交付金事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・公立大学法人としっかりと情報共有をされたい
- ・所管調査にて再調査(運営交付金算出の根拠等)
- ・自立的、効率的な法人運営に資することができるよう公立大学法人としっかりと情報共有を行った上で運営費交付金を交付する。適切な対応に期待する。

その他特記事項

- ・交付金がどのように使われているのか、市が審査して監査できる仕組みを作る。

対象事業	No.	事務事業名
	9	熱気球搭乗体験「そらから魅る超絶景！山陽小野田」

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

完了事業

その他特記事項

- ・次回実施されるときは地域イベントとの融合
- ・子供たちがわくわくと楽しくなるような施策を企画していく。
- ・経験を次に活かされたい。
- ・「山口ゆめ回廊博覧会」の開催期間に実施された事業であり、同様の大会があれば実施していただきたい。

対象事業	No.	事務事業名
	10	学校司書配置事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持		○		
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

#### 今後の方向性の理由

- ・引き続き読書習慣の充実に取り組んでいただきたい。
- ・中学校6校と各小学校11校に配置し、1人が2校を兼務する体制について支障があれば速やかに体制見直し及び体制強化を要望する。
- ・学校司書の配置人数を全校配置に戻すことで、学校図書室の利用促進が推進できる。
- ・学校司書教諭は子供たちの読書習慣等を把握している。できれば各学校1人が望ましい。
- ・全ての小中学校へ司書免許又は教員免許を有する学校司書を配置して学校図書室の利用促進や図書の授業への活用等を推進することを期待する。

#### その他特記事項

- ・子供たちが読みたがる本の傾向について調査
- ・心の居場所の1つとしての機能強化
- ・図書館管理事業で、電子図書館システムが導入される。その体制強化のためにも学校司書の増員を希望する。
- ・児童、生徒がどのような本を読みたがっているかなどニーズをしっかりと把握するための施策に期待する。

対象事業	No.	事務事業名
	11	スマイルサイエンス事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持		○		
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・引き続き理科大と連携しながら進めていただきたい
- ・これまで同様、幅広い分野において東京理科大学との連携強化
- ・学校に赴き、理科教育に学生の支援
- ・ウイズコロナの問題もあり、作品展の通常開催を希望する。
- ・東京理科大学との教育連携を続けていくべき。
- ・市内小中学校児童生徒に対し科学に対する興味関心の喚起、様々なことに挑戦する態度、創造的な能力を育成することを期待する。
- ・山口東京理科大学は市立なので市民や市内の児童生徒のための活動は義務であるため。

その他特記事項

- ・学校生徒への科学的研究に対する興味が高まり、教育に対するアピール度が上がったと思う。
- ・児童生徒が科学に対して興味や関心を持つためにいろいろな実験を見学しながら科学作品の作成に結びつけてほしい。

対象事業	No.	事務事業名
	12	キャリア教育推進事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・キャリア教育を推進されたい。
- ・学校教育の場において「学校教育サポーター」として学生の活用
- ・様々な分野において今まで以上に地域社会への貢献
- ・子供の社会的・職業的自立に向けて必要なキャリア教育であり、事業の拡大を希望する。
- ・児童、生徒の知らない世界を知るきっかけにもなっているので評価する。
- ・職業体験、職業講話等の実施をとおり夢や志、つながりの実感を通じて郷土に誇りと愛着を持つことを期待する。

その他特記事項

- ・「夢を抱かせ、さらに夢を志に進化させる」教育でもあり、さらなる推進を図っていただきたい。

対象事業	No.	事務事業名
	13	ふるさと文化遺産登録・活用事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・目標指標の数値が低すぎる。市民がふるさとの歴史を知ることの大切さを再認識し、内容の充実を望む。
- ・移住定住に向け観光資源として各課との連携
- ・効果的PR方法の検討
- ・市内には6件の文化遺産登録があるが、市民に関心を持っていただくため、やはり積極的な情報発信が必要である。
- ・子供たちが故郷を知り、ふるさとを愛する心を育てるために必要である。
- ・今後についても、ふるさとについて親しみと誇りにつながるような取組を粘り強く続けてほしい。
- ・文化的財産の発掘にもっと力を入れていくべきだと考える。

その他特記事項

- ・市の広報紙等での情報発信を希望する。
- ・当該事業の取組については、やはり第一義的には「文化財審議会」における評価が重要である。今後についてもしっかりと連携を期待する。

対象事業	No.	事務事業名
	14	電子図書館システム導入事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

<p>今後の方向性の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと成果が出せるはずと思う。</li> <li>・利用者の声を聴きながら引き続き事業を推進されたい。</li> <li>・継続的に利用者の層を幅広く広げるためのPR活動</li> <li>・電子図書貸出の年代別傾向の調査、電子図書購入のアンケート調査</li> <li>・小中学校の図書館との接続、他公共施設、小中学校生のタブレットとの連携等、今後の対応をしっかりと進めていただきたい。</li> <li>・来館された方だけでなく、全市民に知って利用してもらえるようにする。</li> <li>・利便性の魅力を伝えるためのPRを積極的に行い、一層の利用促進が望まれる。市内小中学生の利用促進にも学校連携のもと利用促進策が望まれる。</li> <li>・将来的には本事業のシステムを活かし、世界中の図書館と連携して行ってほしいと考える。</li> </ul> <p>その他特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子図書館システムの導入・運用事業の拡大を希望する。</li> <li>・目標達成度、成果「現状維持」となっているが、現状の取組策とすれば「拡大」とすべきではないか。気持ちは「拡大」と発言されたがさびしい！！</li> <li>・日本全国の新聞(地方新聞)が読めるようにする。</li> </ul>
---

対象事業	No.	事務事業名
	15	学校給食費管理事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・未収納者への対応についてはしっかりと取組んでいただきたい。
- ・徴収・管理業務の効率化
- ・未納者への対応について卒業するまでに解決をお願いしたい。
- ・就学援助制度の周知は必要だが悪用されないようにしてほしい。
- ・学校給食会系の管理に取り組んでいるが、その中で給食費未納者が発生している。電話連絡や催告書を送付するなどに対応しているが不十分である。今後は法的措置も検討し適切な対応に努めるとのことであり、そのことに期待する。

その他特記事項

- ・地産地消の取り入れ・拡充体制を進めていただきたい。
- ・生鮮食材等は、旬の地場産を優先する考えの下、6次産業の役割に期待
- ・経済的な理由で納付が困難な負担者に対して就学援助制度の周知もしっかり行うこと。

一般会計予算決算常任委員会事業評価表(令和3年度)

評価分科会	民生福祉分科会
-------	---------

対象事業	No.	事務事業名			
	16	空家等の適正管理の補助事業			

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・増加する空家を適正に管理するためには、所有者等の負担軽減を図る補助事業が必要であるため。
- ・十分に予算を確保し、更なる周知に努めるため。

その他特記事項

- ・空家を適正に管理するために全市的な対応が必要である。
- ・空家バンクへの登録は、市民にとってハードルが高いため、より利用しやすくなるように事業を改善する必要がある。

対象事業	No.	事務事業名			
	17	地域づくり推進事業			

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・地域運営組織の形成を強く推進し、地域課題の解決を目指すべきであるため。
- ・地域づくりの肝である「人づくり」をサポートするためには、常駐の職員が必要であるため。
- ・地域カルテを通して地域課題を共有できるよう行政としての役割を果たすべきであるため。

その他特記事項

- ・地域ごとの将来ビジョンを早急に策定し、役割分担を明確にし、地域課題の解決に取り組むこと。
- ・未だ本来の目的に一向に進んでいるとは言えないため、住民が主体となる地区説明会やアンケートを積極的に推進すること。

対象事業	No.	事務事業名
	18	防犯カメラ設置補助事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

・プライバシーや個人情報に配慮する必要があるが、安全・安心なまちづくりのために防犯カメラの設置は必要な事業であるため。

その他特記事項

・自治会への啓発を進めるなど、制度の周知に努めるべきである。  
・カメラ設置への同意を限定的にできるように事業の改善を求める。

対象事業	No.	事務事業名
	19	おのだサッカー交流公園運営事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

・市のサッカー拠点として適切に管理運営をするとともに、多くの方に来場してもらうよう、引き続き努力すべきであるため。

その他特記事項

・市外からの来園も多いため、定期的に環境整備を実施すること。  
・受益者負担の観点から、天然芝使用料の値上げは維持管理費として考えていかななくてはならない。

対象事業	No.	事務事業名
	20	証明書等自動交付事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・更に利用を促進していくべきであるため。

その他特記事項

- ・情報流出のリスクには十分に備えるべきである。

対象事業	No.	事務事業名
	21	手話通訳者設置事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・事業の更なる利活用のために、全ての市民に対して事業やその利便性を更に周知していくべきであるため。

その他特記事項

対象事業	No.	事務事業名
	22	DV相談員設置事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

・被害者を出さないために体制の強化が必要であるため。

その他特記事項

対象事業	No.	事務事業名
	23	子ども医療費助成拡充事業(自己負担金額助成)

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

・この事業を子育て支援策と捉えて、所得制限を撤廃し、また、対象を高校卒業まで拡大する必要があるため

その他特記事項

対象事業	No.	事務事業名
	24	公立保育所ICT化推進事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・引き続き保育所職員の負担軽減を継続していくべきであるため。

その他特記事項

- ・事業の導入によって、どのように職員の負担が軽減し、保護者の利便性が向上したのかを分析していくべきである。
- ・職員間のデジタルデバイドの解消に努めるべきである。

対象事業	No.	事務事業名
	25	児童クラブ施設整備等事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・引き続き施設、機器のメンテナンスを行うため
- ・耐用年数が過ぎたものを早急に整備できるようにすべきであるため

その他特記事項

- ・耐用年数が過ぎたものについては早急に整備できるように予算を確保すべきである。

対象事業	No.	事務事業名
	26	小野田児童クラブ室整備事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

R4事業完了

その他特記事項

・出入口の改善など委員の意見を参考にすべきである。

対象事業	No.	事務事業名
	27-1	成人健康診査事業(がん検診)

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

・がんを早期に発見し、市民の生命、健康を守るために更なる受診率向上が必要であるため

その他特記事項

対象事業	No.	事務事業名
	27-2	成人健康診査事業(がん検診)【新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業】

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・がんを早期に発見し、市民の生命、健康を守るために更なる受診率向上が必要であるため。</li> <li>・デジタルを活用して、成果の拡充に努めるべきであるため。</li> <li>・先進自治体の取組を参考にして、受診勧奨と無料クーポン券対象者の受診を更に進めるべきであるため。</li> </ul>
その他特記事項

対象事業	No.	事務事業名
	27-3	成人健康診査事業(がん検診)【協会けんぽ被扶養者の検診事業】

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・更なる制度の周知が必要であるため。</li> <li>・引き続き、協会けんぽとの連携を進めるべきである。</li> </ul>
その他特記事項

対象事業	No.	事務事業名
	27-4	成人健康診査事業(がん検診)【女性のがん検診普及啓発事業】

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・がんを早期に発見し、市民の生命、健康を守るために更なる受診率向上が必要であるため。
- ・受診向上を目指しての工夫を評価しており、引き続き啓発を期待するため。

その他特記事項

一般会計予算決算常任委員会事業評価表(令和3年度)

評価分科会	産業建設分科会
-------	---------

対象事業	No.	事務事業名
	28	6次産業化・農商工連携応援事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・令和3年度でプランを実行できなかったが、新たな試みであるので、現状維持で様子を見るべきと考えるため。
- ・6次産業化は今後進めなければならない事業であるが、令和3年度は形に表れておらず、可能性を含め期待したいため。

その他特記事項

- ・農林水産業従事者の高齢化も進んでおり、若者がこうした事業を活用して、新しい仕組みや商品開発の取組をできるよう支援すべき。
- ・課題の多い農林水産業にあって、6次産業化の方向性は間違っていない。プラン認定の見込みから次のステップに向けて山口県とも連携を強化し、努力を重ねるべき。
- ・販路拡大に当たって農産物の原料は安定的な供給に努めるべき。

対象事業	No.	事務事業名
	29	駅舎バリアフリー化整備事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由  
 ・令和4年度以降、エレベーター設置、バリアフリートイレ整備等の工事が本格化する予定であり、しっかり継続すべきと考えるため。

その他特記事項  
 ・今後に向けて予算確保、維持管理手法を検討することが重要である。また小野田駅のバリアフリー化につながる努力も求めるべき。  
 ・エレベーター設置を利用者に分かりやすく告知すること。新幹線口駐車場の利用向上にもつながる自由通路の検討も進めてほしい。  
 ・駅前の公衆便所を公費で支出するが、駅利用者が大多数が占めるので、JR側も支出させるべき。

対象事業	No.	事務事業名
	30	高泊地区新規公共交通導入事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由  
 ・完了

その他特記事項  
 ・10月からの実証運転では、地域の声を聞いて、運行を検証し、利用しやすい将来のデマンド交通の指針となってほしい。  
 ・本来の自宅から自宅へのデマンド交通へ、サービス内容に戻すべきである。車両を小型化したのであれば実現できるはずである。

対象事業	No.	事務事業名
	31	商品券(スマイルチケット)発行事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持		○		
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・市民に高評価されている事業だと思うので、これからも現状維持で継続してもらいたいため。
- ・市民生活の支援及び地域の消費喚起のためにも現状維持で継続すべきと考えるため。
- ・スマイルチケットの効果はあり、令和4年度も事業を実施しており、今後も可能であれば、事業を継続すべきであると考えするため。
- ・議会提案の専用券の割合を増やしたことの効果は十分あったと認められる。今後、類似の事業の際にも議会との連携、協力も念頭に入れるべきであるため。

その他特記事項

- ・この種の事業は市民には歓迎され、支援にもつながる。他市の状況や事業も研究すべきである。
- ・飲食店のうち大手での利用状況についても追跡すべきではないか。なるべく市内本社での利用が望ましいと思う。
- ・配達方法に問題あり。一向に改善されていない。
- ・売上げに変化がない店舗が88%では、市民生活を応援する目的と商店への支援がマッチしていないのではないかと。バラまけばいいということではいけない。
- ・中小売店に広く活用されることが必要である。

対象事業	No.	事務事業名
	32	新型コロナウイルス感染症に関する中小企業等支援事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持		○		
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・相談会やセミナーの参加者が減っているが、対策を取って参加者を増加させて、中處企業支援を継続してほしい。
- ・物価高騰等の影響が出ており、今後も必要であるため。
- ・今後も、事業者のニーズに応じた支援を行っていく必要があるため。
- ・ウイズコロナや物価高騰の中にあって、中小企業支援は最重要課題であり、今後もサイトの活用等継続すべき事業であると考えため。
- ・コロナウィルスの終息が見えない中、必要な事業であるため。
- ・コロナにおける相談窓口の開設は評価できる。

その他特記事項

- ・サイト登録店舗数を2倍程度にする事を目標に対策を考えてほしい
- ・両商工会議所との連携を密にして事業者のニーズに応じた支援は不可欠である。
- ・国や県の施策の情報収集に努め、中小企業の経営課題を理解し、適切な支援体制を構築してほしい。
- ・事業の評価が示されていない。支援される相談件数が少ない。そのためにも、専従の専門士を配置したらどうか。

対象事業	No.	事務事業名
	33	山陽小野田市街路灯委員会修繕補助事業(LED化)

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持		○		
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・今ある街路灯をLED化するだけでなく、必要でないものと今後必要と思われる街路灯の整理も行ってもらいたいため。
- ・街路灯のLED化により、老朽化対策と維持管理費の削減が図られるため、継続すべきと考えるため。
- ・全灯LED化を支援していく必要があるため。
- ・市民の安心安全に寄与する事業だけに尻すぼみにならないように、事業が計画通りに完了するまで、市が十分な支援をすべき事業であるため。
- ・計画的に事業を進めるべきであるため。

その他特記事項

・半導体等の問題で製品の確保が困難とのことだが、その間にスポンサー確保の努力をすべきである。

対象事業	No.	事務事業名
	34	ハザードマップ整備事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由  
 ・完了

その他特記事項  
 ・想定区域に基づいたハザードマップは、住民に情報提供していく上で大変重要である。  
 ・想定し得る最大規模の降雨等に対応したマップになっていても周知への努力、また、対象地区住民が意識し、認識することが重要である。  
 ・被害を最小限にとどめることを目的に、さらに他の河川も含め事業の継続・拡充を望む。  
 ・人に命に関わることであり、常に少しずつでも拡充が必要である。  
 ・ハザードマップを住民が手元において身近に感じることができるマップ、例えば下敷き等にしたリ、その他工夫をしたリしていくこと。  
 ・経費を掛けて作成したものであるから、配布しただけで終わるのではなく、各家庭がどのように保持し、活用しているのかが重要である。その追跡調査も必要ではないかと考える。

対象事業	No.	事務事業名
	35	厚狭駅南部地区定住奨励金事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持		○		
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・PRを引き続き行い、定住促進と地域の活性化を図るべきであると考えため。
- ・事業を引き続き行い、定住を促進する必要があるため。
- ・厚狭駅南部地区の活性化、本市への定住策としては重要な事業である。引き続き周知に努め、駅南地区の発展に寄与すべき事業となってもらいたいため。
- ・引き続き広報活動に努め、5件の目標達成をすべきであるため。

その他特記事項

- ・定住した人が2件と少ないが、この地域は交通の便もよく花の海や観光地、ゴルフ場も近くにあるので広報の仕方を含めどの様にアピールしていくのかを考えていってほしい。
- ・定住人口を図るためにも、住宅サポートと連携を図る。
- ・活性化は人口増、人口定住、交流にとって必要である。
- ・厚狭駅南部地区定住奨励金事業の対象者(市内から厚狭駅南部への定住も対象に含まれること)を分かりやすく明記する。
- ・様々な方面への広報活動は認めるものの、結果からみて周知方法にもうひと工夫しているのではないか。また、この地域が低地にあることへの理解も求めておく必要がある。
- ・水害対策について、行政側もしっかり対応すべき。
- ・水害対策、住宅におけるかさ上げなどの徹底をすべき。

対象事業	No.	事務事業名
	36	地図情報システム構築事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持		○		
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由  
 ・完了

その他特記事項  
 ・令和4年度でシステムを構築し、以降は地理情報システム管理事業を実施していく必要がある。  
 ・概ね事業は完了し、市民の情報取得に大きく貢献となりうる。今後も情報の種類を増やし、更なる利便性アップにつながるよう努力を求める。  
 ・システム更新の際の費用が気になるところではある。  
 ・関係機関や関連事業所への告知に努めてほしい。

対象事業	No.	事務事業名
	37	公的賃貸住宅用地取得事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由  
 ・完了

その他特記事項  
 ・無条件で土地を提供している点は気になるが、今後を総合的に判断すれば居住人口の増加の可能性や波及効果は期待できる。  
 ・計画に沿って公的賃貸住宅の建設を進めること。  
 ・安価な入居家賃である公共(県・市営)住宅を、さらに増築を望む。  
 ・安い家賃ですぐに入居者が完了することが必要である。  
 ・県営住宅の早期建設が活性化の起爆剤になるか、期待したい。  
 ・子育て世代を優先的に入居させるのであれば、公平性に欠ける。子育てが終わると退去させるのか疑問が残る。  
 ・土地代4,900万円も家賃も県に出すことになっているが、県

対象事業	No.	事務事業名
	38	スマイルエイジングパーク事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・運動習慣のきっかけづくりと健康寿命の延伸のために拡大していくべきと考えるため。
- ・糸根公園の整備計画にスマイルエイジングパーク事業を取り入れ、成果、コスト投入を拡大すべきと考えるため。
- ・都市公園4か所の事業完了が求められるのは当然だが、これにとどまらず、その他の都市公園や市民が集う施設にも設置し、スマイルエイジングを実感してもらうべきであるため。
- ・市民の運動習慣のきっかけづくりのため、健康遊具を更に設置すべきであると考えため。
- ・身近なところに手軽な健康遊具があると考えため。

その他特記事項

- ・こうした健康遊具を沢山の人が知って欲しいので、もっとPRしていく必要がある。
- ・使用方法について分かりやすくすること。
- ・季節により百歳体操等で健康遊具を活用したり、子供たちへの活用や、例えば健康遊具の使い方動画もお年寄りが子供たちと一緒に楽しく遊びながら使えるイメージを持たせてはどうか。
- ・健康遊具の発注について、円滑な設置ができるよう確認作業も要注意である。
- ・安全に使用できるよう定期的な目視、点検に努めてほしい。

対象事業	No.	事務事業名
	39	大規模盛土造成地の変動予測調査事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持		○		
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

- ・変動予測調査を行い、住民への情報提供を図るべきと考えるため。
- ・第二次スクリーニングの実施に向けて、課題の整理や関係者の調整を行う必要があるため。
- ・熱海のケースを目の当たりにしている。20か所が判明している以上第二次スクリーニングの早期実施、結果の公表をすべきであると考えため。

その他特記事項

- ・大地震、豪雨災害等、活動崩落の危険対応など緊急的に実施すべきである。
- ・人命に関わることであり、計画的に実施すべきと思います。
- ・第一次スクリーニングで分かった20か所の盛土造成地には早く対応してほしい。
- ・受益者との合意形成は困難を極めようとも、早期対応に徹すべきであり、事故が起こった後ではこの事業の意義はない。
- ・市民の不安解消に努めること。